

HELLO!!!



●外国語指導助手
イングリッド・レザー
Ingrid Lezar

自分を信じて

高校生のとき、わたしは自分が続けて勉強したい教科を選択しなければなりません。わたしは勉強したいことがたくさんあったので、適性検査を受けました。細かいことは覚えていませんが、興味深く覚えているのは人格検査の結果です。得点はすべて標準で、バランスのとれた人格という結果でしたが、ただ一つ、「自分や自分の行動について他人の評価が気になるか」という項目では、明らかに「ほとんど気にしない」という結果が出ました。

母はその瞬間、「なるほど」とうなずいたことでしょう。わたしと母がたくさん言い争うのは、わたしの非常に自立性の強いこの性格のためかもしれません。

幸いにも、わたしはなるべく「対立」を避けているので、身近な人だけが、わたしの意志があまりにも強固なことを知っています。皆さんがそんなわたしの性格に気付いたら、わたしやほかの外国人がなぜ日本人に対して時々困惑するのか、きっと理解できるでしょう。「自分自身で決断することはそんなに難しいことですか？」

小学校での外国語活動を例に挙げてみましょう。内子町は、文部科学省が定める平成23年度からの外国語活動必修化に先駆け、すでに熱心に取り組みを始めていま

す。困難なこともたくさんあったと思いますが、2年前にわたしが内子町に来たときには、小学校の先生たちは自分で英語の授業の計画を立て、素晴らしい授業を行っていました。

対して、ほかの地域の小学校でも英語教育が始まっていますが、すべて外国語指導助手(=ALT)に任せ、いまだにそのやり方で授業が行われているところが多いようです。これはさまざまな意味で賢いやり方とは言えません。ALTは通常、教師になる訓練を受けていませんし、子どもたちのことを把握するには時間がかかります。また、たびたび交代があるため、継続性がありません。

内子町の先生たちは主体的に活動し、良い仕事をしています。

そして、英語ノート^{*}。これを「思わぬ幸運」と考える人もいます。です。「やった！ルールや制約がある」って、そんなことはないですよ？

外国語活動も、英語ノートも、まだ強制ではありません。小学校卒業のために英語の習熟度テストがあるわけでもありません。先生に必要なのは、子どもたちに言語を紹介し、それを楽しめるように手助けすることだけなのです。

英語ノートに縛られているうちは、たくさんの疑問が生じます。

「どのように使えばいいのかわかるか」。先生はALTや教育委員会にこのような質問をぶつけてきます。しかし、その答えのほとんどは「場合による」です。さらに、わたしだったら、「そんなの関係ない」と答えます。わたしは人に新しい情報を伝えたり、何かを勧めたりするときは、いつも最後に「使ってもいいし、使わなくてもいいよ」と言います。何においても、何かをするのは、ほかの誰かではなくあなた次第です。

英語ノートも同じです。先生は多くの経験を積んでいます。そして外国語活動の経験もあります。英語のレベルは関係ありません。子どもたちが習うのは簡単な文章ですし、ALTが手伝ってくれます。頼りになるのは、教師としての訓練と経験がある先生たちです。

わたしの何事にもとらわれない頭はこう考えます。今までのあなたの鍛錬、知識、技量と経験を信じてください。あなたは子どもたちにとって何が一番良いかを知っています。あなたがここでしか得ることのできないすべての知識は、どこか遠くにいる国の役人の知識よりも貴重だということを信じてください。まだ個人の自由があるのならば、それを使って、創造して、そして自分自身を信じてください。

*英語ノート…文部科学省が作成した小学生英語活動の教材



事務局 内子分庁3階

☎ 0893(44)2114

fax0893(44)6137

🌐 <http://utia.jp/>✉ kokusai@town.uchiko.ehime.jp

「第16回青少年海外派遣事業」の日程が決まりました



(左) 今年の参加者たち (右上・右下) ローテンブルク市の風景

(財)内子町国際交流協会と内子町教育委員会の共催により実施している「青少年海外派遣事業」も、今年で16回目を迎えます。

現在までに199人の中学・高校生が参加。今年も12人の参加者が10月18～28日の11日間にわたってドイツおよびベルギーを訪問します。

友好都市ローテンブルク市では、ホームステイや学校生活体験をはじめ、景観保全や環境保全についての研修を行います。またEU(欧州連合)の中心地であるベルギーでは、チョコレート作りや自主研修活動を通して、多言語でさまざまな民族や文化が共生する環境を体験する予定です。

現在、参加者たちは、内子町の町並み保存やドイツ語会話などについて事前研修を重ね、出発に向けての準備を整えています。

また、帰国後は報告会を開き、それぞれ研修を通じて学んだことや感想などについて発表することとしています。

参加者たちの活躍に、ご期待ください。

■研修日程

10/18 (月)	夕刻：内子町出発→松山空港→大阪着	大阪泊
19 (火)	関西空港発→フランクフルト→ローテンブルク着	ホームステイ
20 (水)	市長表敬訪問、町並み散策、パン屋さんでプレッツェル作り体験、家型ろうそく立ての工房とアジア水公園見学	ホームステイ
21 (木)	半日学校訪問、町並み保存についての研修	ホームステイ
22 (金)	警察署・消防署の見学、クリスマス博物館見学、タウバー渓谷散策	ホームステイ
23 (土)	日帰り遠足(ドイツの古城、古い建物の野外博物館見学など)	ホームステイ
24 (日)	終日：ホストファミリーと夜：お別れ会	ホームステイ
25 (月)	ローテンブルク発→フランクフルト→ICE(新幹線)でベルギー・ブリュッセルへ	ホテル泊
26 (火)	ベルギー市内研修(EU、市庁舎など)、チョコレート作り体験、班別自主研修	ホテル泊
27 (水)	ブリュッセル発→東京	機内泊
28 (木)	→羽田空港発→松山空港→夕刻：内子町着	